

# 令和 2 年度コロナ禍における本校の対応（記録）

研究部 川瀬 英幹

## 1. はじめに

令和 2 年 1 月から中国武漢を中心に原因不明の肺炎が発生。同月中旬には WHO が新型コロナウイルス (COVID-19) を確認。同月 16 日には日本国内で感染者が確認された。1 月末から国内での感染者数が次第に増加し、2 月 27 日、3 月 2 日から全国の小中高校に臨時休校要請の考えが安倍首相 (当時) より公表された。それに伴い、本校でも臨時休校となった。その後も新型コロナウイルスの感染拡大は進み本年度 4 月 7 日、7 都府県 (東京・神奈川・埼玉・千葉・大阪・兵庫・福岡) に緊急事態宣言が発出された。その後、同月 16 日に、全国に拡大された。5 月 4 日、政府は緊急事態宣言を 5 月 31 日まで延長を決定。感染状況拡大が緩和するとともに、5 月 14 日、政府は 39 県での緊急事態宣言を解除 (東京・埼玉・千葉・神奈川・大阪・京都・兵庫・北海道除く)。同月 25 日には緊急事態の解除が宣言された。緊急事態宣言解除後も、人との接触をなるべく避け、ソーシャルディスタンス (2 m 以上) を空け、3 密 (密閉空間、密集場所、密接会話) を避けるといった新しい生活様式が始まった。

このような社会情勢の中、本校における新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をどのように行ったかをここに記録しておきたい。

### 【参考】

NHK 特設サイト 新型コロナウイルス

<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/>

厚生労働省 新型コロナウイルス感染症について

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

## 2. 平成 31 年度末の本校の動きについて (概要)

新型コロナウイルスの感染状況拡大を受けて、本校の休校は 3 月 2 日 (月) から始まった。卒業式は 3 年生のみとして急遽対応。3 月 4 日 (水) 生徒に対し、出校日の日時について、Classi で配信及び HP への掲示で連絡。3 月 5 日 (木) の第 1 回合格者事前指導会は共有して試着等を行う必要のある物品のサイズ合わせは中止、課題や書類の配布及び回収と教科書購入、生徒手帳用写真撮影を行い解散とした。優先事項を検討の上、絞り込んで実施した。3 月 6 日 (金) 休校中の課題について、Classi で配信及び HP への掲示で連絡。

3 月 24 日 (火) については、各クラス 30 分刻みでの登校。2 年生が午前中、1 年生が午後からとして設定。考査返却と課題配布を 10 分程度で行い、教科書購入。済み次第帰宅という、きわめて短い時間での登校を実施した。

いずれにしても、Classi を導入していたことが功を奏し、課題配布や指示の大半を、Classi を通じて行うことができ、電話連絡等の負担がかなり軽減されたといえる。また、この生徒休校期間中において、Zoom の利用を検討し、準備に取りかかることができたのは幸いだったといえる。

### 3. 記載について

以下、各分掌の取組みについて、3期に分けて記載を依頼している。

- 1 期目：休校期間
- 2 期目：休校期間から再開直後（分散登校期間）
- 3 期目：再開その後（通常登校期間）

### 4. 本校における休校期間及び分散登校期間について

4月8日（木）～5月6日（水）を休校期間としていたが、政府による緊急事態宣言の延長が決定したため、5月31日（日）までとなった。

しかしながら、宣言が5月14日に解除されたことで、本校では以下のように対応した。

- 5月 25日（月）～ 3年生のみ半日ずつの分散登校
- 6月 1日（月）～ 3年生は高校校舎で分散授業  
1・2年生は大学の第一共通棟を借りて午前・午後の分散登校
- 6月 8日（月）～ 1・2年生 大学第一共通棟にて通常登校
- 6月 22日（月）～ 3学年そろって高校校舎での通常授業再開

次ページより、各分掌・学年による取組みを採録し、今回の新型コロナウイルスへの対応の記録としたい。